なぜ少林寺拳法を習おうと思ったか

ぼくが（私が）少林寺拳法を始めたのは～（少林寺拳法を何で知ったか、初めて見学したときどのように思ったか、習おうと決めた理由は、始めてみてどう感じたか、これからどのように頑張るかなど、すなおな気持ちを書きましょう。また、少林寺拳法を始めた自分に対しての、家の人や友達の感想などもあれば、書きましょう。

少なくとも原稿用紙の半分以上は書いてください。

（試験官の先生に読んでもらう作文ですので、きれいな字で書くことを心がけてください。）

20 × 20

少林寺拳法の拳士としての心得

私達、少林寺拳法を学ぶ拳士は、次の六つの事に気を付けなければいけません。

一、脚下照顧

脚下照顧とは、自分自身を常に見つめるということです。少林寺拳法の修行は道場で技の練習をすることだけではなく、ふだんの生活から気を付けなければいけません。今日、自分のしたことが良いことか悪いことかを反省することも大切です。（例えば何から始めますか？書きましょう。）

二、合掌礼

少林寺拳法のあいさつは、合掌礼で行います。これは相手と自分のどちらも大切に思う心を表すことで、少林寺拳法のかまえでもあります。（合掌礼をすると体がどうなりますか。）

20 × 20

か？書きましょう。）

作務

作務とはいつもの生活で行ういろいろな作業の事です。道場の掃除をしたり、家で食事の手伝いをしたりすることです。僕は（私は）家で（自分のしている手伝いのことなどを書きましょう。）をしています。きれいに掃除をすると心もきれいになります。

三、服装

自分の心のあり方は、自然と見た目にあらわれるので、服装も清潔できちんとしなくてはいけません。修練の時も、道着をきちんと着て、修行するみんなが気持ちよく修練できるようにします。（服装以外に体で気を付けることを書きましょう。）

四、態度

少林寺拳法や、勉強を教えてくれる先生には、学ぶ気持ちを態度に表します。いっしょ

20 × 20

に学ぶ友達にも、礼儀正しくします。周りにいるすべての人に対して礼儀正しくすることが大切です。（少林寺拳法で話を聞くときはどうしますか？書きましょう。）

五、言葉

言葉は話す人の人格がひびきとなって相手に伝わります。汚い言葉を使うと、自分も汚くなってしまいます。正しくていねいな言葉づかいをすることは人間として大切なことです。（自分がこれから、誰に対してどんな言葉で話したいか書きましょう。）

20 × 20